

科目名	環境衛生学 (Health and Environment)			科目コード	169
開講学科	臨床検査学科	選択区分	必修	単位数 (時間)	1単位 (15時間)
科目区分	専門基礎科目	履修時期	2 年次前期	関連DP	—
担当教員	林 弘*				
授業概要	環境に関する分野を生活環境と環境保全に大別し、環境保健の意義と対策について述べる。生活環境では、食品保健、飲料水、廃棄物、原子力など身近な問題について、環境保全では環境問題の歴史、公害対策、化学物質対策、地球環境対策などについて具体的に解説する。				
授業目標	環境問題の現状を理解し、環境の時代に生きる社会人としての常識を身につける。				

授業計画

回	項目	内容
1	公害・環境問題の歴史	地球の歴史、日本の公害の歴史、世界の環境の歴史
2	地球環境対策	地球温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨、砂漠化、海洋汚染など
3	公害対策 (1)	大気汚染、騒音、振動、悪臭など
4	公害対策 (2)	水質汚濁、地下水汚染、土壌汚染など
5	化学物質安全対策	内分泌攪乱化学物質 (環境ホルモン)、ダイオキシン類など
6	生活環境対策	食品衛生対策、飲料水、生活衛生関係法、室内環境、原子力など
7	廃棄物対策	循環型社会の形成、ごみ問題、産業廃棄物、下水対策など
8	まとめ・試験	7 回の内容の補足説明
成績評価方法		定期試験の結果のみで評価する。
教科書		プリント
参考図書等		必要な資料を適宜コピーし、全員に配付する。
授業時間外の学習について		なし
関連科目		171 公衆衛生学実習
備考		